



大猩猩岩（おおしょうじょういわ）

1. オコトヌシ（2級）【本田達】

西の正面右側のカンテを使うライン。コダマに逃げずに左上気味に最頂点を目指す。

2. デイダラボッチ（初段）【本田】

西のメインフェイスを左右のカンテを使わずにひたすらカチで直上。

3. モロ（3級）【本田】

西の正面左側のカンテを使うライン。途中から左のスラブに逃げずにカンテを右上し最頂点を目指す。

4. エボシ（4級）【石川果乃】

凝灰岩に細かい礫が付着したような珍しい前傾フェイス。カチの痛みを存分に味わって下さい。

5. ジコ坊（4級）【鈴木孝志】

石の上からスタート、左のカンテと正面のカチやポッケを使いながら直上。落ちるとスタート石に激突するので要注意。

6. アシタカ（4級）【本田】

鎌形のフレークを辿ってコケコケフェイスを直上。下部アンダームーヴのバランスが悪い。SDスタート。

7. サン（1級）【本田】

東の正面フェイスを直上。途中左のテラスに逃げずに真っ向勝負。

8. カヤ（5級）【本田】

コダマのテラスから上部は右側のスラブを登る。マントル 1 ムーブしかないが高さがあるのでしびれます。

9. コダマ（6級）【本田】

南に伸びる階段状のライン。頂上にいたる一番簡単なルート。下降ルートと併用。

10. ジバシリ（2級）【高橋裕志】

カヤからスタートしオコトヌシまでトラバース。ジコ坊のスタート石に注意。エボシ周辺はホールドが不安定。

山形県米沢市

大猩猩岩（おおしょうじょういわ）

文と写真 本田 達

古いクライミングの仲間から「ダム湖畔にある神社奥の、元境内だった広場に大きな岩がある」と教えてもらったのが今年の9月末でした。早速確認に行ってみましたら、確かにそこには想像をはるかに超える巨大な岩が一つ、ぽつねんと鎮座しているのです。

その岩は高さが約8mで、周囲には遮るものは何もなく、どこか日本離れして大陸的なロケーションの草原にありました。訪れる人も無く、時折釣り人の歩く姿が遠くに見えるだけで、現世から隔離された異界じみた雰囲気のある場所です。

岩の表面には至る所に「矢穴」が開けられています。これはクサビを打ち込んで岩を割るためのものです。恐らくこの岩はダムの掘削工事のときに破壊されそうになったのかと思います。周りを見渡すと、確かに痕跡が見つかります。元もとは抱えられない大きさだったものが屈強な人足たちに砕かれていった成れの果てでしょう、1mくらいの塊が無数に散らばってありました。おそらくこの孤岩はあまりに大き過ぎたことが幸いし、時間切れか、意図してかは分かりませんが、作業が放棄されて残されたのかもしれない。

ダム湖底にあった集落に住んでいて、今は下の町に転居した地元の方からお話を伺うと、以前はここ（神社）で年に一度の秋祭りも行われていたらしいですが、今はもう誰が管理しているのか全然わからないということでした。

藪と土、砂利に埋もれた踏み跡を掃除し、草払いし掘り起こすと、そこに立派な石組みの階段が現れました。倒れた鳥居の残骸もあります。目前に広がるダム湖は降雨が少なかったせいか枯れ気味で、沈んだ農道や民家跡、田畑のあぜの薄っすらと隆起する様子が伺えます。そして、大きくて孤独な岩が見下ろすようにたたずんでいます。人間が去ったあとの神聖な時間を感じさせる、独特の不思議な光景が目の前に広がっている。まるで映画『千と千尋の神隠し』の背景美術のロケ地のような、そんな想像が自然と湧いてきました。

妄想は膨らみますが、この岩は宗教的な経緯も無ければ名前すらも持たない、ただの大きな岩です。なので初対面の時の圧倒的な印象から、僭越ながら「大猩猩岩（おおしょうじょういわ）」と名付けさせていただこうと思います。大猩猩とはゴリラの事です。密林の王者の頭部を連想したからですが、「矢穴」の列がなんとなく流れる涙にも見えます。満天の星空を見上げながら、昔日の思い出にひたっているのでしょうか。ほのぼのして温かい岩です。



1. 場所

山形県米沢市

2. ロケーション

水窪ダム沿いの湖畔神社、そのありし日の境内にあります。岩質は凝灰岩で時折ぼろぼろ剥がれます。下地は平らで砂地なので、薄いマットでも着地のダメージは少ないかもしれません。残念ながらこのエリアにはこの岩1つしかありません。ルート数も少なく、この岩のボルダリングだけを目的に来るのは少々物足りないかもしれません。ピクニックや釣りなども合わせて楽しむとか、東北ツアーの帰りにちょっと立ち寄るという程度でもよろしいかとも思います。トップアウト後の下降は「大門寿司（6級）」を使いますので少なくとも6級の登り降りができる人のみご利用ください。周りには15mクラスの大きな壁が2箇所ありましたが、そちらには祠が祭ってありました。時折釣り人が立ち寄ってきて「お前たちは岩にしがみついて何をやってるのか」と問われます。しかし、いくら説明してもご理解いただけないので「岩の中に金の鉱脈がありそうなので調査しています」と言うと納得して戻っていきます。

3. アクセス

東北中央自動車道の「米沢八幡原 IC」から国道13号を福島方面にたどり、刈安地区から「県道関根刈安線」を水窪ダムの方に入って約3kmのほど行くと駐車場に着きます。駐車場から神社の参道階段を2分ほど下りていくと岩場のある境内広場です。

*駐車場は5～6台しか停められません。いっぱいときは100mくらいの間隔で車止め路側帯があるのでそこから歩いてください。釣り人の車も時々ありますので、譲り合いでご対応ください。

4. 利用上の注意事項

- ・県道関根刈安線は冬季閉鎖となり通行できません。利用料や駐車料はありません。
- ・ゴミは持ち帰りをお願いします。湖畔なので時々強風が吹くときがあります。もし飛ばされると回収困難になりますので細心の注意をお願いします。トイレトペーパー等も埋めずに持ち帰りをお願いします。
- ・トイレありません。水場也没有ありません。
- ・松茸山のエリアが隣接しているので、山菜含めて絶対に採らないでください。釣りは券が必要です。
- ・釣の人などに普通の挨拶程度をお願いします。
- ・当然ですが事故は全て個人の責任において処理してください。
- ・携帯電話は繋がります。